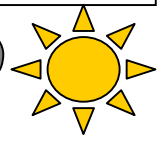




18年度新学期始まる 地域の底力!



今年から若葉台西地区でも、地域をあげて組織的に子どもたちの安全指導が始まりました。

新緑の息吹とともに、18年度の新学期がスタートしました。どこの学校にも新入生を歓迎するかのよう、明るい花々が咲き誇っています。

そのような中で、朝の通勤途中に気が付いた事があります。それは、他の市町から春日市に入った途端に、黄色いゼッケンやおそろいの色のスタッフジャンパーに身を包んだ地域の方たちが、旗を持って交差点のあちらこちらに立っている姿を数多く見かけることです。

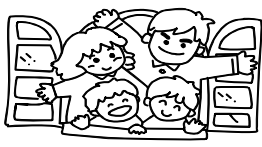
みなさん、「おはよう」と声かけをしながら、事故や犯罪から子どもたちを守ろうとされています。

このような地域をあげての取組みは、春日市ではここ2～3年で急速に広がりつつあるように思われます。「自分たちの地域の子どもの危険から守ろう!」という思いから、登下校の安全パトロールを組織したり、地域づくり課が提唱した「ついで隊」に積極的に参加し、外出の時には常に腕章やバッチを付けてくださったりしています。本当にありがたいことです。

春日市の「地域の底力」。これこそ保護者や学校にとって心強い味方です!

2ページ・3ページでは今年も全ての小中学校区の「地域子ども教室」の様子を紹介していく予定です。今回はまだ動き出していない教室が多かったため、次号より掲載していきます。

今回は新しい地域活動指導員の紹介と「キラリ春日の人」、地域子ども教室や子ども会活動での安全マニュアルについて掲載します。



よろしく！ 地域活動指導員です。



よこ 横
やま 山

こ 小
やなぎ 柳

本年度、新しい地域活動指導員2名が社会教育課に入りました。では、それぞれひとつずつ。

小柳「子どもから大人まで…オールマイティーでお相手いたします。(相手してください。) よろしくお願ひします。韓国語が得意です♪」

横山「子どもが大好きで、学校の英語教師を目指しています。子どもたちの幸せのために頑張りたいと思います。サッカー歴15年です！」

2人ともやる気満々ですので、どうぞよろしくお願ひします。

キラリ春日の人



かみわき たかみつ 神脇 孝光さん

紅葉ヶ丘東にお住まいの神脇孝光さんは、「葉隠拳法道」総本部の会長を務めてあります。拳法の指導実績も昭和57年から平成15年まで篠栗町立体育館で先頭に立って教えてあったそうです。その後大病を患い、それを乗り越えられて、現在春日南小学校の「チャレンジクラブ」(地域子ども教室)で子ども達に護身術ということで指導をされています。以下は質問形式で・・・。

Q「南小学校で指導をされるようになったきっかけは？」

A「病気をして以来、何もする事がなくて退屈で。そんなときにあなたにもできる事はありませんかという文章を市報で見て、社会教育課に護身術なら教えられますがという電話をしました。」

Q「子どもたちに教えていてどうですか？」

A「いやあ、とても楽しいですよ。」

神脇さんは、あいさつ、靴をそろえるといった心の基本から、不審者からの身の守り方まで教えてくださっています。



子どもたちの安全は大丈夫ですか？



地域子ども教室や子ども会の活動などでは、子どもたちが安全かつ安心して活動できる環境を確保することが極めて重要です。そこで、この「らいん」を通して安全管理の要点を何回かに分けて掲載していきたいと思います。

安全な活動のために その1

健康管理

子どもたちの健康に関する危機管理は、傷害の防止および疾病の予防から、傷害や急病の発生時の対応まで広い分野に及びます。今回は予防対策について掲載します。

(1) 予防対策

施設・設備・備品・遊具

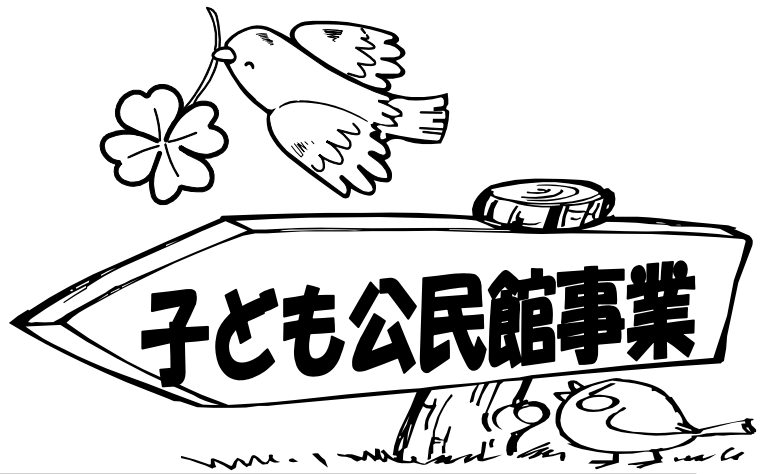
- ・ 安全点検は、組織的・計画的に行いましょう。
- ・ 具体的には対象や種類別の点検表や観察ポイントを示した実施要領を作ると良いでしょう。
- ・ 使用する備品や遊具が対象年齢に相当であるかを検討し、不具合がないかを点検しましょう。
- ・ 安全点検の結果不具合が発見された場合は、放置せず速やかに使用禁止や立入り禁止などの適切な措置をしましょう。
- ・ 応急手当用品（救急箱）を用意し、被害を最小限とするための応急手当に必要な用品をまとめて準備し、常に点検・補給を行いましょう。内服薬は原則として使用しないでください。

組織

- ・ 事前に、プログラム内容の子どもに対する適切性、注意点などについて指導者全員で話し合う事が重要です。指導者の人数や配置については、安全確保の点からも検討しましょう。
- ・ 活動に参加する子どもたちの健康状態について、個人情報に配慮しつつ、十分把握する必要があります。特に基礎疾患（運動誘発喘息、心臓病、腎疾患、糖尿病など）や障害のある子どもが参加する場合は、必要に応じて保護者等に情報提供を求めるなどして理解しておきましょう。
- ・ 当日の健康状態についても把握し、それを踏まえて指導を行いましょう。
- ・ 子どもたちには、体の調子が悪い場合は我慢せず申し出るように指導しましょう。

子どもへの指導

- ・ 道具（カッター・ナイフ、のこぎりなど）の正しい持ち方や使い方を教えましょう。
- ・ 活動にふさわしい服装や靴の選び方を指導しましょう。
- ・ 自分が何をするのかを理解し、自分自身で危険を回避し、安全を考えて行動できるように指導しましょう。



本年度も子どもたちが地域で主体的に取り組む「子どもの手による子どもの活動」＝「子ども公民館事業」を支援します。

1 補助対象条件

下記の条件を満たす活動団体のうち、10団体程度に事業費補助を行います。

春日市内の小・中学生（以下、子どもたち）5人以上で実行委員を構成。

計画から実施、片付けまで、子どもたちが中心となって行う。

放課後や土日に取り組まれる様々な文化・スポーツ・奉仕活動である。

活動の中に、地域の方々とのふれあいがある。

活動場所が地区公民館、学校、公園、ふれあい文化センターなどの公共施設である。

子どもたちの自主性を損なわない範囲で支援する大人が二人以上いる。

2 補助対象活動期間

平成18年7月～平成19年3月末

3 補助額 一事業あたり、上限25,000円

4 補助申請期限 平成18年6月16日（金）

詳しい要項と申請書は、5月11日（木）に公民館長さんに渡し、地区公民館に置いていただきます。また、社会教育課にもあります。お問合せや相談も気軽に社会教育課までどうぞ。 575-4121（担当 水城・横山）



理科で花の観察をする4年生



丘にそびえる学び舎

白水小学校開校

市で12番目の設立となった白水小学校が4月から開校しました。

コミュニティースクールとして地域に開かれた学校を目指します。学校・保護者・地域の協働のもと、子どもたちが豊かでたくましく育ててほしいものです。

